

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

長津田地区は、人口が4万人を超え、世帯数、面積ともに区内で最大の地区である。1連合、1地区社協、1地区民児協があり、連合には29の自治会で構成される。地区全体では、高齢化率は19.5%と区内で最も低いが、自治会ごとに見ると高齢化が40%に迫る自治会がある。一方で、子育て世代が多い自治会があるなど、自治会ごとの課題は様々であり、地区全体で課題を捉えるのではなく、自治会ごとの課題の確認と解決に向けた取組みが必要である。具体的な課題としては、エレベーターのない公営、分譲の団地が複数あり、高齢化による地域活動の停滞傾向、担い手不足等が挙げられる。また、地域ケアプラザから遠方の単位自治会エリアでの相談件数の増加しており、相談につながる仕組みづくりが必要である。これらを踏まえて、今年度、「長津田ささえあいネット」協力事業者と連携し、認知症理解の啓発や地域ケアプラザから遠方のエリアにおける相談体制の強化を進める。つながりが薄い単位自治会との情報共有や関係構築のきっかけとしての出前講座の開催等、積極的な働きかけをする。地域ケア会議は、重点地域で個別のケース情報の共有を行い、日常的な見守りの拡充や集いの場等の地域活動の活性化に向けた働きかけへつなげていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケアプラザから遠方のエリア（以下、「遠方エリア」という）とのつながりを構築するため、出張講座等を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議を通じて地域の実態を把握し、見守り活動や集いの場づくりを活性化させる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「長津田ささえあいネット」協力事業者と連携し、認知症サポーター養成講座を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「向こう三軒委員会 こども・子育て部会」と共に、子育て支援のニーズを捉え直し、課題解決につながる取組を進める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症対象の「介護者のつどい」を開催し、介護者の気持ちを吐露できる場を提供する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

1 全般

一般的に今年度当初に想定していた事業は、コロナ感染拡大防止のため中止せざるを得ない状況であった。また、初回の緊急事態宣言解除後は相談件数が著しく増加し、介護保険申請や認知症、精神疾患を伴う生活の困りごとについてなどの相談が多くみられた。下半期からは、新たな生活様式を踏まえた形で事業を徐々に再開したが、地域への出張講座等については地域の理解を得ることが難しく、殆ど再開できなかった。一方で、コロナ禍で必要な事業を検討し、「食支援」や「介護予防DVDの作成」等に取り組んだ。

2 食支援

コロナ禍で収入が減ったことにより食事に困っている方に対し、「長津田地区食支援」と称して食支援を計3回実施した。食支援を行う上で配分する食品については、長津田地区全体に呼びかける必要があると考え、長津田地区自治連合会、長津田地区社会福祉協議会、長津田地区民生委員児童委員協議会の協力を得た。第1回では50名の方より570個の食品が集まり、各回多くの食品が集まった。配分会は、第1回は学生を対象とし、第2回以降は学生以外の方にも対象を広げ、各回約30名の方に配分した。

食支援を受けた方にはアンケートを実施し、食事に困っている状況が把握できた他、地域の方々への感謝のメッセージを受け取ることができた。その中には、「長津田に住んでいて良かった」「地域の方に支えられていると実感することができた」と、食支援による「地域の支え合い」の一端を見ることができた。なお、本食支援は、コロナ禍における長津田地区別計画推進組織（向こう三軒両隣共に支え合うまちづくり運営委員会）の重点活動にも位置づけられており、今後も地域の力を得ながら更に「地域の支え合い」を進めていく。

3 介護予防DVD作成

コロナ感染拡大による4月の緊急事態宣言発令から現在に至るまで、外出を控えていた高齢者が要支援・要介護状態に陥ったという相談を受けるようになった。従来の「元気づくりステーション」を初めとした介護予防を行う集いの場のみでは、コロナ禍で十分に対応できないことから、在宅でできる介護予防を促すため、地域の介護事業や介護予防グループの協力を得て、「長津田リハビリ体操」DVDを作成した。今後は、普及に向けて取り組みを進めていく。

区からのコメント

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画していた事業を行うことが難しい一年だったかと思います。そんな中でも、「コロナ禍でケアプラザとして何が出来るか」を検討し、様々な制限がある中で工夫しながら各種事業を行い、また数多く寄せられる相談への支援を行っていただき、ありがとうございました。

特筆すべきは柔軟に計画を変更して取り組むことができたことです。コロナ禍で顕在化してきた生活困窮の課題について地域住民と共有し、食支援に取り組んだことは素晴らしい実績です。これまで地域と繋がりのない方たちが、地域とのつながりを認識するきっかけにもなりました。また、対応した相談を分析し、自宅でもできる介護予防の必要性について明らかにしたことも大きな成果であると評価しています。これまでのように集合形式で事業を行うことができない中、自宅でもできる体操のDVDを、ケアプラザだけでなく、これまで培ってきた介護事業所や介護予防グループとの関係を生かして作成したことは高く評価できます。

一方、当初想定していた「遠方エリアでの出張講座」や「長津田ささえあいネット」協力事業者との連携の取組等については、ぜひ次年度の実施に向けて方策を検討していただければ幸いです。